

# 近藤忍後援会 2010年活動報告書

発行責任者  
後援会長 江野澤政広



旧年中も、後援会に変わらぬご理解を頂き有り難うございます。  
新年にあたり、市議会議員としての活動も、間もなく4年となる近藤忍の2010年における報告を行わせていただきます。  
本来であれば後援会の皆様に年始の挨拶も兼ねて行いたいところではありますが、公職選挙法による挨拶状の制限のため、このような形式となったことをご理解いただければ幸いです。

後援会長 江野澤政広

## 1. 定例議会での活動報告

近藤忍は、年内の全ての定例議会で市制改革のために質問を行いました。概要は次の通りです。

### 3月定例議会：「巖根駅の整備・入札制度改革」

巖根駅に快速列車停止を要望する署名の提出を受け、現在の巖根地域における人口減少や地価下落、金田開発の進捗等の状況を前提に市の取り組みに対して質問を行いました。その後、市はJRと協議を始めました。

入札制度改革では最低価格で失格になる制度を見直すように要求しましたが制度改革が本年の11月となり、年前半の発注の多くは最低制限価格による籤引きとなり、削減効果を得られませんでした。今後が期待されます。



### 6月定例議会：「歳入強化・歳出削減」

歳入強化策として、徴収率を高めている船橋市の視察で得たものを元に、徴収率の向上策や債権管理を一元化する組織構成について質問を行いました。

現在の木更津市では税金以外でも保育料等の公金の未収が増えており、今後は厳しい法的処理が必要になると考えております。また、関東の自衛隊基地を所有する自治体の補助金を調べ、本市が交付金を上手く活用していない実体を指摘しました。翌年度以降の予算には反映される見込みです。



### 9月定例議会：「都市計画・金田開発・子ども育成施策等」

時代の変化に伴う都市計画の見直しを質問したところ、市街化調整区域における地区計画制度を用いた整備手法を進めることになり、現在検討作業に入っています。金田開発は、税金の投入量が増えないように合理化を進めるよう求めました。子ども育成策としては、幼稚園や認可外保育園の支援について質問を行いました。市立保育園については民営化の動きが鈍くなっていますが、それによる職員数の削減や合理化の観点から改革の流れを止めることなく一層の推進を求めていきたいと思っております。

### 12月定例議会：「土地開発公社・耐震対策・巖根駅整備等」

土地開発公社の借入金の処理による財政削減効果や千葉市が解散を目指す中で本市の対応について質問を行いました。その結果、今年度末の補正予算で買い戻しが行われる見込みです。また、学校の耐震対策事業や市役所本庁舎、民間住宅の耐震対策について市の取り組みを質問しました。

巖根駅については、ホーム延伸工事の完了が金田の街開きに間に合わなくても、窓口としての整備が行われるように聞いたところ、来年度に駅前広場整備を行うことが回答されました。

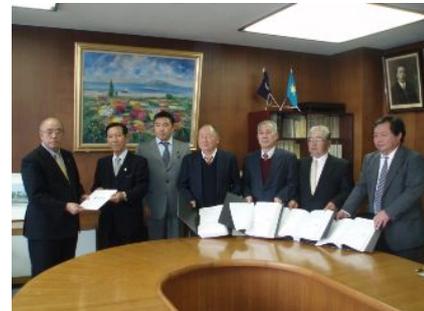
## 2. 委員会等における活動報告

議会広報委員会では2年目の委員長として「市議会だより」や広報手段について検討を重ねております。建設常任委員会では副委員長として、都市計画や千束台土地地区画整理等の諸問題を検討しております。基地対策特別委員会では、江川総合運動公園の拡張事業の事例として大和市の視察を行いました。合併調査特別委員会では、岩手県奥州市と福島県郡山市の視察を行い、地区へ権限を移す手法を調べました。会派フォーラム未来では、一昨年、昨年に引き続き、市長に対し5項目の政策提言を行いました。

## 3. 地域等における活動報告

2010年1月25日に、巖根駅に快速電車を停める11,526名の署名がJR・千葉県・木更津市に提出されたことを受け、それに伴う多くの活動を地域の方々とともにを行い、9月2日にはJRに対して再度の要望もしました。

また、地域の各種総会や敬老会、文化祭等に参加する中でいただいた、市民の皆様の多くの意見や要望を、行政に伝え、改革の提案をして参りました。



## 4. 市議会議員として3年8ヶ月を経た成果と課題

- ・ 議会を知っていただくため、近藤忍の個人HP（<http://sinobu.com/>）や議会広報紙を使用して積極的な情報開示に努めて参りました。今後は議会のインターネット動画中継等の方法を議会全体で検討します。
- ・ 議会質問等により、学校の適正規模・適正配置の見直しを訴えて来た結果、審議会が設けられ、現在は議論が進んでおります。耐震対策事業も進めては居ますが、まだ対策率が低いいため、さらに促進して参ります。
- ・ 水越市長の改革を支える立場から市長選挙において協力を行って参りました。今後はその改革の流れを止めることなく進め、木更津市を他市から羨まれるような誇り有る都市にして参りたいと考えています。
- ・ 公的な行政視察だけでなく有志による調査や個人的な学習も行い、先進地域の諸課題などを調べ木更津市に反映させようと努めて参りました。今後は、具体的な形で成果を地域に還元して行かねばと考えています。

## 5. 2011年の木更津市政の課題

- ・ 第4次3か年計画が始まる中で、歳入強化と歳出削減を伴いながら行政サービスの向上を目指す行政改革を進めて行かねばなりません。具体的には窓口のワンストップサービス等に向けた対策が進められます。
- ・ 金田東地区の街開きを目前に控え、時間が少ない中で有効な政策を矢継ぎ早に実施する必要があります。その一方で千束台の区画整理のように慎重に対策を立てるべき問題も多く、行政の対応力が試されます。
- ・ 人口は近い内に13万人を超え、東京機械製作所がアカデミア地区内で操業を始めるなど企業進出も活性化します。市役所も市役所の休日開庁など、市民が便利と思える制度に向けた検討と提言を行ってまいります。
- ・ 春には統一地方選が行われますので、様々なことが争点となってくると思われます。個人的には、ホームページや後援会報告を通じて、現状や活動情報の開示を進める事が重要と考えています。

## 6. 後援会の案内と入会のお誘い

年賀状ならびに年始の挨拶状を近藤忍本人から郵送することは、公職選挙法違反となるため、本年も昨年と同様に後援会より会員の皆様に対して近藤忍の活動報告をさせていただきます。本書が届くことにお心当たりのない方は、恐れ入りますが下記までその旨をご連絡下さい。

また、近隣や知人で近藤忍後援会へ入会を希望される方が居られましたら、氏名、住所、電話番号等をお知らせ下さい。連絡は後援会事務所を訪問戴くか、郵送・電話報告、FAX、メール等の方法にてお願いします。

**住所 木更津市江川 847 、 TEL 0438-41-1605 、 FAX 0438-41-1606 、 メール [info@sinobu.com](mailto:info@sinobu.com)**